

## はじめに

富士市は、東京から約146km、名古屋から220kmの位置にあり、東海道新幹線、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号が通る交通アクセスにたいへん恵まれた場所です。

温暖な気候のもと、北には世界遺産の富士山、南に駿河湾を望む景観とともに、富士川、丸火自然公園、大瀬の滝、岩本山、富士山からの豊富な湧水群などの自然に囲まれているほか、田子の浦しらすや富士のお茶、富士梨、ゆで落花生、富士ヒノキなどが特産品となっています。

また、日本最古の物語といわれる「竹取物語」で有名な、かぐや姫伝説伝承の地として知られているほか、江戸時代からの富士山信仰に基づく歴史遺産も数多く残されており、これらについても貴重な観光資源となっています。

本市では、平成16年3月に「富士市観光交流まちづくり計画」、平成22年3月には「新富士市観光交流まちづくり計画」を策定し、こうした本市特有の素材を活かした観光施策を推進してまいりました。

特に、富士山しらす街道プロジェクトや富士山百景プロジェクト、岩本山・雁堤プロジェクトなど、本市の魅力を十分に活かしたプロジェクトの推進により、今では、数多くの皆様が本市を訪れるようになりました。

平成25年6月に、富士山が世界文化遺産に登録され、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など、本市はもちろんのこと、富士山周辺地域の観光振興にとって大きな追い風が吹いています。

この好機に、本市へのさらなる観光誘客の促進を図り、これまで以上に実現性、効果性を重視した取組を進めていくよう、この度「富士市観光基本計画」を策定いたしました。

今後も、富士山のふもとにある本市の様々な資源の磨き上げを行い、観光振興に活かしていくことは、本市の活性化に欠かすことができません。

交流人口の増加により、本市がさらに発展していくよう、市民の皆様と協働し、観光施策を展開してまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



富士市長 小長井 義正